

# やまなしハッピーボイス Happy Voice

2023 9/25  
No.254



県下統一「山梨県シャインマスカット品評会」を初開催しました！



「農協ミルク山梨産白桃」の商品発表報告会に出席しました！



元気な声、明るい声が聞こえてくる  
JA全農やまなしの広報誌です。  
どうぞよろしく！

JA全農やまなし

## 3房入り化粧箱、35万円の値が付きました

### 県産最優秀賞のシャインマスカット

山梨県本部は8月31日、甲府市のJA会館で県下統一の「山梨県シャインマスカット品評会」を初めて開きました。

品評会は、他県産をリードする産地づくりと高品質の追求、県産シャインマスカットの生産者間の品質を競うことで生産意欲の高揚、県内産地のレベルを高めることが目的です。県内4JAの早場産地から17点の「シャインマスカット」が出品されました。審査の結果、最優秀賞には、JAフルーツ山梨の小笠原政宏さんが選ばれました。

審査は、山梨県農政部、山梨県果樹試験場、東京青果(株)とJA全農やまなしの5人が審査員を務めました。審査員は房形、粒はり、果皮、色づきを確認した後、試食で食味、肉質などの食感を評価しました。

梶原審査委員長は「どれも甘く、大玉で香りがよ

かった。品評会を機に、高品質なシャインマスカットの生産に向けて一致団結し、生産者と共に県産の価値を高めていきたい」と講評しました。

1日、東京都中央卸売市場大田市場の東京青果(株)でセリにかけられた、最優秀賞の「シャインマスカット」3房入り化粧箱は35万円の値が付きました。



粒はりや色づきなどを確認する審査員

## 知事先頭にトップセールス

### 県産ブドウ 中澤会長、県産シャインPR

山梨県本部は8月28、29の両日、東京都内で開かれた山梨県農畜産物販売強化対策協議会(中澤昭会長)が主催する県産ブドウの消費拡大・販売促進活動を図るための「トップセールス」に参加しました。

1日目は東京の大崎で長崎知事、中澤会長が市場関係者らを出迎え、意見交換を行いました。

2日目は東京都中央卸売市場大田市場を会場に市場関係者へのプロモーションとして「県産ブドウの配布・展示」、「トップセールス」を展開しました。

セリ場・特設会場には県産の「シャインマスカット」「ピオーネ」「クイーンニーナ」の展示コーナーを設け、長崎知事と中澤会長ら関係者が県産ブドウのおいしさを大勢の市場関係者に向けてPRしました。

長崎知事は「おいしい未来へやまなしと銘打ち、

より高いブランド力を持って皆さまにお届けできるよう日々研さんを積んでいる」とあいさつ、中澤会長は「シャインマスカットをはじめ巨峰、ピオーネなど素晴らしい県産ブドウが仕上がっている」と市場関係者にアピールしました。



県産ブドウを市場関係者にアピールする長崎知事

## 県産野菜10人分を提供 県本部 VF甲府ホームゲームに協賛

山梨県本部は8月19日、山梨県や山梨県中央会・山梨県農畜産物販売強化対策協議会と連携し、「野菜の日キャンペーン」の一環として、サッカーレギュラーリーグ「ヴァンフォーレ甲府」のホームゲーム戦でのハーフタイム抽選会に、県産野菜の詰め合わせ10人分を提供しました。

このキャンペーンは安全・安心な県産農畜産物を供給する本県農業と、それに携わるJAの役割について県民へのさらなる理解促進に努め、県産野菜の消費拡大を広くPRすることを目的に行いました。



大型オーロラビジョンを使い県産野菜をPR

また、24日には山梨県本部が運営している農産物直売所「たべるJA(じゃ)んやまなし」で啓発チラシの配布や野菜のアンケートを行い、回答者を対象にAコープ商品のドレッシングなどをプレゼントしました。



アンケートに答えるお客様

## 農協ミルク山梨産白桃を売り込む 県本部 協同乳業(株)と連携して

山梨県本部の梶原本部長たちは8月3日、甲府市の恩賜林記念館で協同乳業(株)と連携した「農協ミルク山梨産白桃」の全国発売に伴う商品発表報告会に出席しました。

「農協ミルク山梨産白桃」は、県本部が供給する県産白桃の果汁と生乳を50%使用した農協ミルク飲料シリーズの新商品です。甘く香り高い県産白桃の果汁と生乳のバランスにこだわった農協ミルクならではのクセになる甘さに仕上げました。9月25日から一般発売されます。

梶原本部長は「県産加工品で生産量日本一の県産桃のPRと青果への販売促進につなげたい」とあいさつしました。

県本部は、競争力のある県独自品種の普及定

着やブランド化・販売促進だけではなく、SDGsに貢献する取り組みとして、市場に出荷が出来なくなる果実を加工原料とする事業の推進など果樹農家の振興を積極的に進めています。



商品発表報告会に出席した関係者

## JA梨北 原さんの黒毛和種がトップ 第51回共進会 黒毛和種34頭などが出品される

山梨県肉畜鶏卵共進会実行委員会(梶原一明会長・JA全農やまなし県本部長)は7月27日、山梨食肉流通センターで「第51回山梨県肉畜鶏卵共進会(肉牛の部)」を開きました。

この共進会は、品質の優れた肉畜・鶏卵を生産し、畜産に対する一般的な理解を深め、食肉消費拡大を図るとともに、畜産農家の経営意欲を高め、安定した畜産経営の推進と本県の畜産振興に寄与することを目的に毎年開かれています。

梶原会長は、日頃の謝辞を述べ「甲州牛と甲州ワインビーフの消費拡大運動やPR活動を実施する中で、ブランド力の強化に努めていきたい」とあいさつしました。

今年は黒毛和種34頭、交雑種24頭の出品があり、審査員が歩留まりや肉質等級などを確認しました。審査の結果、JA梨北管内の原廣一さんの出品した黒毛和種が金賞(山梨県知事賞等)を受賞しました。

セリでは、金賞受賞牛は枝肉単価3,550円/kgで小島精肉店が落札しました。



金賞を受賞した肉牛と(左から)梶原会長、購買者の小島精肉店、生産者の原さん

## 京都・市原野小でくだもの教室 児童たち県産モモを試食

山梨県農畜産物販売強化対策協議会は、教育活動の一環として7月20日にくだもの教室(モモ)を京都府京都市にある京都市立市原野小学校で開きました。

京都市内での「くだもの教室」は、京都市教育委員会、山梨県大阪事務所、京都青果合同(株)と連携して毎年実施しています。

当日は、5年生34人を対象に野菜ソムリエ上級プロの加藤恵美子さんによる、モモの特徴や果実に含まれている栄養分などの説明を聞いた児童たちは熱心にメモを取っていました。続いて、自分で箱を作りモモをつめる作業を体験した後は、山梨県産モモの試食を楽しんでもらいました。

また、今年も山梨県のモモ栽培農家とリモート

中継を行い、モモが実っている圃場の状況を見ながら児童たちが直接質問すると農家は丁寧に答えしていました。



加藤さんからモモの説明を聞く児童たち

## TFP GroupがJAフルーツ山梨訪問

### モモ・ブドウの共選所、圃場見学

山梨県本部が事務局を務める山梨県果実輸出促進協議会は、JA全農インターナショナル(株)と協力して、7月下旬、マレーシア国内で約30店舗を展開している The Food Purveyor Group(TFP Group)のバイヤー、インターラジアリンクス(株)などから9人を招いてモモ・ブドウのバイヤー産地招聘(産地商談)を行いました。

バイヤー産地招聘(産地商談)とは海外量販店、卸業者を産地に招聘し、共選所や圃場で実際に青果物を見ながら商談を行い、産地と海外の実需者を結びつけるJA全農インターナショナル(株)の取り組みです。

今回はJAフルーツ山梨に協力いただきブドウは塩山統合共選所、モモはかのいわ中央共選所、最後にJAフルーツ山梨の本所が所有するブドウ

の圃場を訪れました。JA職員からブドウやモモの品種や出荷状況、共選所の説明などを受けた参加者はメモを取りながら、共選所の様子を写真に収めていました。



共選所で JA 職員から説明を受ける参加者たち

## 峡南の児童泥だらけ

### 「田んぼの生きもの」を調べる

企画管理課は、県峡南農務事務所と協力して7月に峡南地域の小学校4校で「田んぼの生きもの調査」を行いました。

J A全農は、農業と環境の深い関わりや生物多様性保全の大切さを実感する活動として「田んぼの生きもの調査」を実施しています。田んぼにすむ生きものを調べ、これからの日本の農業や食と環境についての理解と関心を高めています。

児童たちは、短い時間の中で泥だらけになり

ながら、田んぼにいるいろいろな種類の生きものを夢中になって捕まえていました。

採取後は、各自が捕まえた生きものを、バットの中に入れて、みんなで図鑑を使って調べ、わからない事は講師に質問しました。

最後に「田んぼはお米をつくるだけでなく生きものを同時に育てています。お米を食べ続けることで生産者のみなさんの生活を支えましょう」と講師は児童たちに呼びかけました。



市川三郷町立市川南小学校



南部町立富沢小学校



南部町立睦合小学校



富士川町立増穂南小学校

## 大阪でトップセールス 県本部 県産モモの消費拡大図る

山梨県本部は7月14日、大阪市中央卸売市場で開かれた山梨県農畜産物販売強化対策協議会(中澤昭会長)が主催する県産モモの消費拡大・販売促進活動を図るための「トップセールス」に参加しました。

長崎知事や大久保農政部長が参加し、JAグループ山梨からは、中澤会長、梶原本部長らが同行しました。

長崎知事と中澤会長らが、出荷の最盛期を迎えた県産モモ約200個を大阪市中央卸売市場内の多くの市場関係者に配り、県産モモのおいしさをアピールしました。

長崎知事は「今年も生産者のたゆまぬ努力と匠の技術により芸術品とも言える最高のモモに仕上りました」と市場に集まった関係者にあいさつしました。



市場関係者にあいさつをする中澤会長

## 香港で県産シャインPR 県本部 JAふえふき管内の圃場と現地結ぶ

山梨県本部は全農インターナショナル香港と協力して、7月7日、香港の消費者にライブコマースで山梨県産「シャインマスカット」を紹介しました。

当日は、JA担当者と県ハウスブドウ部会副部会長を務めているJAふえふきハウスブドウ部会部会長の久保田健一さんの圃場から中継しました。



圃場から中継する久保田部会長(右)とMCのホーマンさん(左)

久保田部会長から「シャインマスカット」の特徴や栽培方法などを説明していただいた後、MCによる収穫体験を行い、香港の消費者に普段見ることのない生産現場の映像をお届けすることができました。

県本部は、これからも山梨県農畜産物のおいしさを広められるよう、取り組みを進めていきます。



久保田部会長の「シャインマスカット」



## 旬の県産農産物紹介と

野菜ソムリエ上級プロ



## 超簡単クッキング!

# 加藤さんの「やまなしを食べよう」

このページは、毎週金曜日 AM11時00分 FM-FUJI「Awesome! やまなしを食べようコーナー」で紹介された食材のレシピをご紹介します。

### 今月の食材【ぶどう(シャインマスカット)】

ぶどうの勢力を塗り替えた輝く青系ぶどう!

#### シャインマスカットについて

登場するやいなや大人気のシャインマスカット。ついに2022年には巨峰やデラウェアを抜いて作付面積の首位に立ったとされています。シャインマスカットはこれまでになかったマットな輝きを持つ果皮、パリっとはじける食感、皮ごと違和感なく食べられる粒。そして酸味が少ないので甘さを感じやすく、果物の酸味が苦手な方も食べやすいのも特徴です。親しみやすい味を持つ青系ぶどうの王様です。

#### 栄養について

ぶどうはヨーロッパで「畑のミルク」と表現されるフルーツ。ぶどうにはヒトのエネルギー源となる糖質が、ブドウ糖や果糖などの吸収されやすい形で含まれており、疲労回復効果が期待されるとともに、速やかにエネルギーとして活用することができます。さらにブドウ糖は脳の唯一のエネルギー源とされており、ブドウ糖が不足すると、疲れやすくなる、集中力が低下

する、判断力が鈍くなるなどの症状がおこると言われています。適度にブドウ糖を摂取することはとても大切です。吸収されやすいブドウ糖の形で含まれる美味しいぶどうはおやつにぴったりです。

#### カロリーについて

ぶどうは甘いし、ブドウ糖や果糖が多いならカロリーが高いのでは?と気にされる方もいらっしゃると思います。ぶどうは果物の中ではカロリーが高めですが、私たちがエネルギーの供給源として主食として食べるご飯と比較するとフルーツであるぶどうは水分が多く、食物繊維も含まれるので急激に血糖値を上げる心配が少ないです。夏の暑さで体も心も疲労しているこの季節、美味しいぶどうで心も体も元気になります!

100gあたりのカロリー	
ぶどう皮なし生	58kcal
ぶどう皮付き生	69kcal
ご飯(精白米)	113kcal

※日本食品標準成分表2020年版(八訂)より



### 簡単クッキング



#### ●材料(2人分)

ヨーグルト(加糖) ..... 200g  
シャインマスカット ..... 8粒  
 ..... (量はお好みで)  
お好みでグラノーラ ..... 適量

### フローズン シャインマスカットヨーグルト

ヨーグルトの酸味とブドウ糖で美味しい疲労回復!

#### ●作り方

- ①ヨーグルトを凍らせる。
- ②飾り用の粒を残して、粒を1/4にカットし、常温で少し解凍したヨーグルトと混ぜる。
- ③仕上げにお好みでグラノーラを乗せ、飾り用の粒を乗せる。

#### ★ポイント

プレーンヨーグルトの場合は解凍すると分離してしまうため、凍らせる前に砂糖やはちみつなどを加えてから冷凍してください。

#### 【加藤恵美子さん】

山梨県の野菜ソムリエ第1号。現在は最高位の「野菜ソムリエ上級プロ」です。「食と農のかたりべ」などの食関連の資格を持ち、また、フルーツコンサルタントとして県内外で活躍中です。  
FM-FUJI 毎週金曜日 AM11:00~「Awesome! やまなしを食べようコーナー」に出演中。  
【FM-FUJI HPアドレス】<https://www.fmfuji.jp>





新鮮・安全・安心・美味しい  
県産農畜産物を皆さんにお届けします。



#### 営業のご案内

**営業時間** 9時30分～17時

**定休日** 水曜日

**場所** 甲府市青葉町1421-1

**055-225-1001**

JAグループ山梨 JA全農やまなし